



横田基地所属CV-22オスプレイの部品遺失について（要請）

令和2年6月18日に横田基地所属のCV-22オスプレイの部品の一部が落下したとみられるとの報道があった。記事によると、16日午後5時ごろ、米空軍横田基地所属のオスプレイが飛行後の点検を行ったところ、部品の一部がなくなっており、落下場所は不明だという情報が、17日に北関東防衛局から東京都及び横田基地周辺自治体へ情報提供されたとのことである。

部品等の落下は、人命に関わる重大な事故につながりかねず、多くの住民に不安を与えるものである。

これまで、部品落下事故等が発生した場合は、基地所在地のみならず飛行ルート等に関係する自治体や住民に対し適切な情報提供をするよう要請してきたにも関わらず、今回の事故について貴局から情報提供がなかったことは極めて遺憾である。

については、横田飛行場の滑走路の延長線上にあたる自治体として、今回の事態に抗議するとともに、下記の事項について強く要請する。

記

- 1 事故の経緯を明らかにし、原因究明を行うとともに、再発防止を図るよう米軍に申し入れること。
- 2 航空機の点検整備を強化するとともに、安全飛行の実施を徹底するよう米軍に申し入れること。
- 3 今後、事故等が発生した場合には、基地所在地のみならず、横田飛行場の滑走路の延長線上にあたる3市に対し、速やかに情報を提供すること。

令和2年6月22日

防衛省北関東防衛局長 松田 尚久 様

飯能市長 大久保 勝



入間市長 田中 龍夫



日高市長 谷ヶ崎 照雄

